

会 議 録

会議名称	令和5年度 第2回大空町図書館協議会	
開催日時	令和6年3月25日（月）	18時30分から 19時30分まで
開催場所	東藻琴総合支所委員会室	
出席者の氏名	委員出席者氏名（敬称略） 村上 守、雅楽代 憲男、横尾ちはる、岩尾美智代 教育委員会 歌丸主幹、河西主査 図書館 道場館長、竹内係長、横野係長	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和5年度年第2回図書館協議会会議 議案 ○資料1 第4次子どもの読書活動推進計画数値目標 ○資料2-1 令和5年度大空町図書館事業実績 ○資料2-2 大空町図書館令和5年度貸出実績 ○資料3 令和5年度大空町図書館事業計画（案）	
審議内容及び結果	（1）第4次大空町子どもの読書活動推進計画の数値目標について 資料1に沿って説明。 以下のとおり質疑等があった。 【委員A】 令和9年度までに児童生徒数がどの程度減少すると想定しているのか？ 【教 委】 現在から1割程度の減少を想定している。 【委員A】 児童生徒数が減ることで図書購入冊数も減ると見込まれるが、その場合は同一書籍当たりの購入冊数が減るだけで、図書の種類は減らないのか？ 【教 委】 図書購入費は教育委員会が予算を管理しているが、具体的な購入書籍の選択は	

審議内容及び結果	司書に任せている。 【委員B】 読書の日を設定しても、それで本を読む人が増えるわけではない。読むメリットが必要。他市町村の例を参考に、具体的なメリットを盛り込んだほうがよい。 大空町でも電子書籍にもっと力を入れてはどうかと思う。児童書についても電子書籍に対応したものがあるのか？ 【図書館】 近隣市町村では、学校が電子書籍用IDを取得し、学校で借りる形式にしているところもある。 【委員C】 教科書については既に電子書籍化が進み、大空町の社会科副読本も電子書籍化される。現在はノートもタブレット端末を使用しているが、タブレット端末が一人1台のため、電子書籍とノートを同時に使用できないのが難点。 【図書館】 電子書籍の場合、購入するものと期間限定ライセンスを取得するものがあるが、どちらもランニングコストがかかる点が難点。 【教 委】 電子書籍については、前計画の時にも検討されている。網走市が電子書籍を導入しているので、定住自立圏の関係でコストを折半できれば可能性はあるが、まだ導入コストが高額のため、価格帯が落ち着くのは導入する自治体が増えてくるタイミングになると考える。 (2) 令和5年度大空町図書館事業実績について ① 令和5年度貸出実績について 資料2-2に沿って説明。質疑等なし。 ◆ 常連利用者の顔ぶれが同じのため、常連利用者が歳を取るにつれて貸出年齢層も上昇している。 ◆ ゴールデンカムイの人气が落ち着いて貸出が減ったため、コミックの貸出冊数が大きく減少した。
-----------------	---

審議内容及び結果	◆ レファレンス実績で観光案内が大きく減少したのは、よくある質問をあらかじめ掲示しておいたため。 ② 令和５年度事業実績について 資料２－１に沿って説明。質疑等なし。 ◆ 新規事業として実施したのは２件。 ◆ 文学作品コンクール及びポスターコンクールは、実施時期を早めたことで応募作品が増えた。 (３) 令和６年度大空町図書館事業計画(案)について 資料３に沿って説明。質疑等なし。 ◆ 講演会は女満別と東藻琴で交互に開催している。Ｒ６は女満別開催。 ◆ 手作り絵本教室は女満別と東藻琴で交互に開催している。Ｒ６は東藻琴開催。 ◆ ブックリストは前年と同じ内容だと関心が下がる。このため、掲載書籍数を２００冊から１００冊に減らすことで毎年改訂を実施する。 以上
-----------------	--